

ETAPTIP - No. 006J

プロジェクトビュー : Part 5 - 要素 (Components)

適用できる ETAP のバージョン : 7.5.2

(これら以前のバージョンでは、以下の説明手順とは多少異なることがあります。)

これは、ETAP TIP - No. 002aJ & 002bJ (Part 1 : プレゼンテーション)、No. 003aJ & 003bJ (Part 2 : 系統構成)、No. 004J (Part 3 : スタディケース)、No. 005J (Part 4 : ライブラリ) の続きです。

この説明の理解を深めるために、ETAP プログラムを立ち上げ、C:\ETAP 75X JP\Example-ANSI フォルダにあるプロジェクトファイル “Example-ANSI (ja-JP).OTI” を開いて下さい。(ここで C: は ETAP プログラムをインストールしたドライブ、ETAP75X JP は ETAP のバージョンです。)

ツールバーの配置・構成等については、ETAPTIP - No. 003aJ の “ツールバーマップ” を参照下さい。

5. 要素 (Components)

“プロジェクトビュー” の “要素” フォルダをクリックすると、現在作業しているプロジェクトで使用している全ての要素が表示されます。このフォルダから以下の操作を実行することができます。 図 1 参照

- a) このプロジェクトで入力されている要素の総数を知る
例えば、すでに入力されている母線数やモータの台数が分かります。 図 1 参照

注記 :

- (i) ここに表示されている要素の数には、ゴミ箱の中にある要素の数も含まれます。 → ETAP TIP No.002bJ “ゴミ箱 (System Dumpster)” 参照
- (ii) ここに表示されている要素の数は、“Base” レビジョンがアクティブな場合の要素数です。リビジョンが、“Base” でない場合は、表示方法が異なります。→ 次頁の “データが異なる要素(レビジョンデータ)” 参照

- b) エレメントのプロパティへのアクセス
直接プレゼンテーション (単線図、Star 等) に行かなくても、直接エレメントのプロパティにアクセスすることができます。→ 次頁の “ポップアップメニュー” 参照
- c) エレメントの検索
希望のプレゼンテーション (単線図、Star 等) にあるエレメントを検索できます。→ 次頁の “ポップアップメニュー” 参照
- d) エレメントの確認または区別
Base データから レビジョンデータを作成し、エレメントの条件を区別、変更できます。→ 次頁の “データが異なる要素(レビジョンデータ)” 参照

注記 :

“レビジョン管理” システムは、各要素 (機器や装置) のエンジニアリングデータ (定格や定数) をいろいろ変更して、“もし、このよう場合は ! (What-If)” というシナリオの検討を行なうための、ETAP の優れた機能の一つです。ETAP は、無制限のレビジョンデータを登録することができます。

例えば、変圧器のインピーダンスを変更して、Base データとは別に、新たにレビジョンデータ登録することができます。そして、2つの短絡電流計算を実行することができます。一方は Base データ (元の変圧器のインピーダンスベース) による計算、もう一方は レビジョン データ (変更した変圧器のインピーダンス) による計算です。

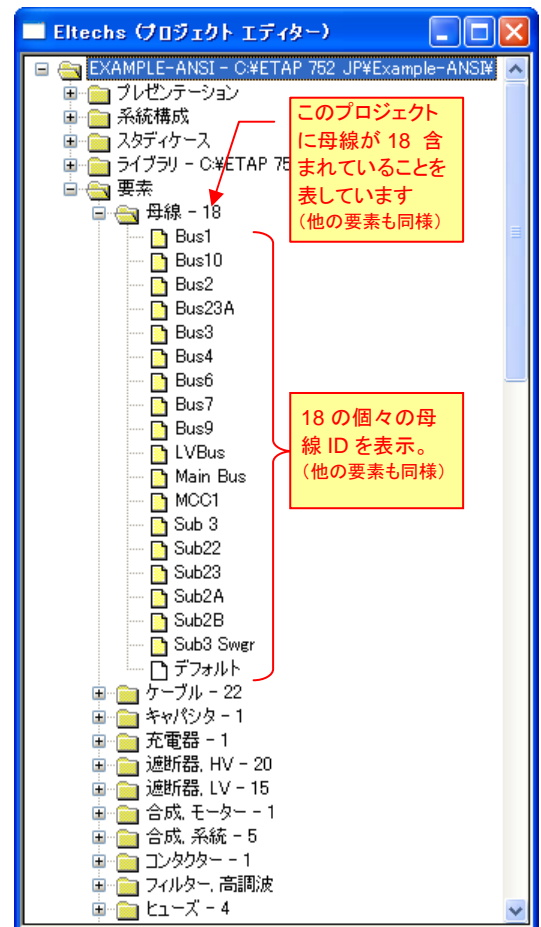


図 1 : プロジェクトビュー (要素)

ポップアップメニュー

“要素” フォルダを開き、エレメントを右クリックするとポップアップメニューが表示されます。 図2参照
このメニューから下記の操作を行うことができます。

範囲を検索 “XXX”

このコマンドを選択すると最後にアクティブになったプレゼンテーション内のエレメントを検索します。“XXX” は、最後にアクティブになったプレゼンテーションの名前を意味します (この例では “Study View”)。

単線図ビューを検索...

このコマンドを選択すると、“プレゼンテーションの選択” 画面が表われ、エレメントを検索したいプレゼンテーションを選択して検索することができます。

Star ビューを検索...

このコマンドを選択すると、Star プレゼンテーション (保護協調図) の単線図内にあるエレメントを検索します。

属性

このコマンドを選択すると、そのエレメントのエディターにアクセスすることができます。(エレメントのエディターダイアログウィンドウが表示されます)

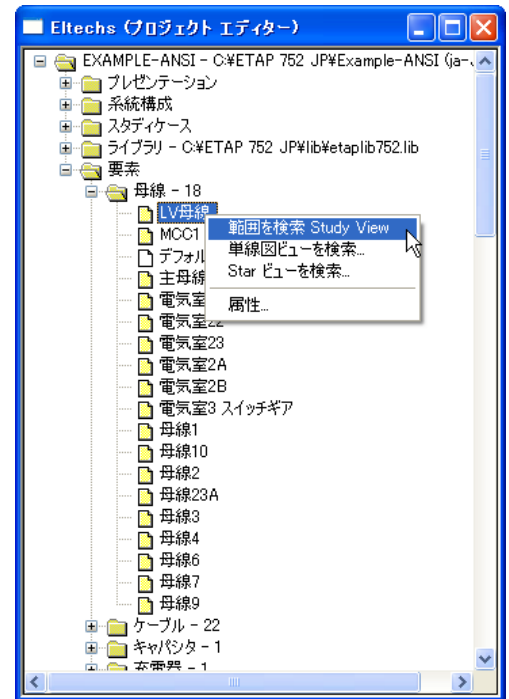


図2：ポップアップメニュー

データが異なるエレメント (レビジョンデータ)

“要素” フォルダから、Base データとレビジョンデータとで入力・保存されているデータに差異があるかどうかを知ることができます。レビジョンデータにおいて、Base データとデータが異なる場合、そのエレメントとフォルダが緑色で表示されます。 図3参照

“Example-ANSI (ja-JP).OTI” プロジェクトで “レビジョン” ツールバーから “2010 Modifications” を選択した場合、“ケーブル 13” が Base データと異なる条件であることがわかります。また、母線のフォルダが緑色で2と表示されています。

これは、2つの母線がレビジョン名 (2010 Modifications) において、Base データと異なるデータが入力・保存されていることを示しています。 図3参照

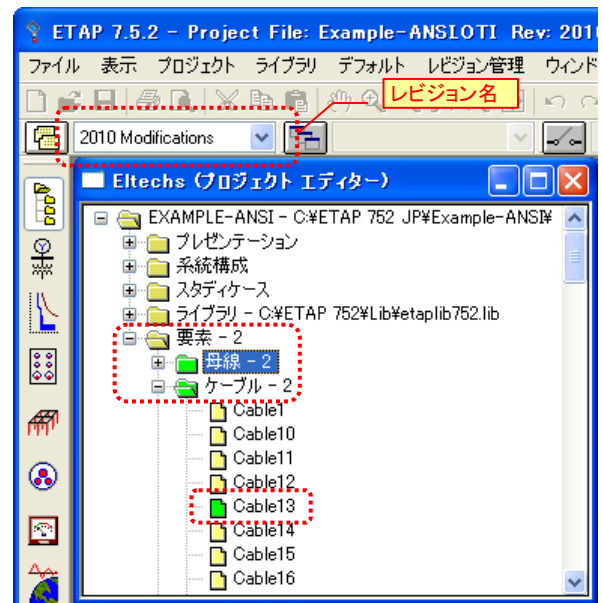


図3：データが異なるエレメント

今回で、“プロジェクトビュー” についての説明を終わります。下記の ETAP TIP を参照下さい。

- ETAP TIP - No. 002aJ & 002bJ プロジェクトビュー Part 1 : プレゼンテーション
- ETAP TIP - No. 003aJ & 003bJ プロジェクトビュー Part 2 : 系統構成
- ETAP TIP - No. 004J プロジェクトビュー Part 3 : スタディケース
- ETAP TIP - No. 005J プロジェクトビュー Part 4 : ライブラリ
- ETAP TIP - No. 006J プロジェクトビュー Part 5 : 要素